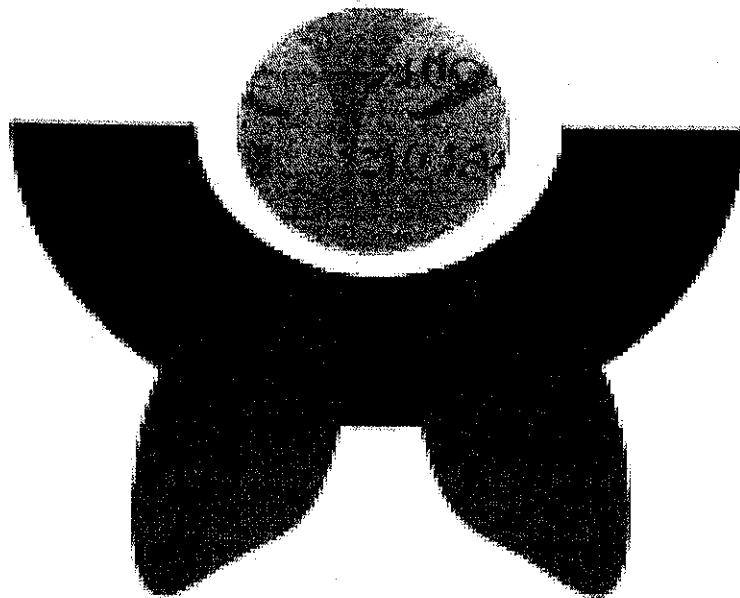


平成29年度 大原自治振興会定期総会



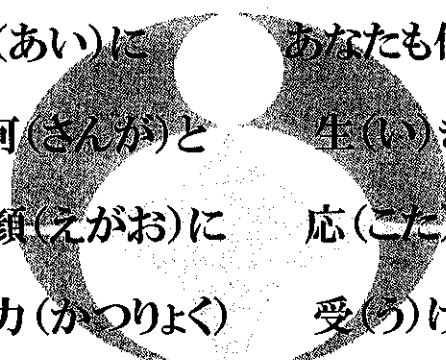
(皆様から募集し決定した大原自治振興会のシンボルマークです)

日時:平成29年5月20日(土)午後8時～

場所:甲賀大原地域市民センター 2階会議室

甲賀市市民憲章

わたしたちは「みんながつくる住みよさと
活気あふれる甲賀市」を目指して、この憲
章を定めます。



あふれる愛(あい)に あなたも仲間(なかま)
いろどる山河(さんが)と 生(い)きいき文化(ぶんか)
こぼれる笑顔(えがお)に 応(こた)える安心(あんしん)
うみだす活力(かつりよく) 受(う)けつぐ伝統(でんとう)
かがやく未来(みらい)に 鹿深(かふか)の夢(ゆめ)を

市民憲章の唱和方法

司会:甲賀市市民憲章

わたしたちは「みんながつくる住みよさと活気あふれる甲賀市」を目指して、この
憲章を定めます。

司会:あ

全員:あふれる愛(あい)に あなたも仲間(なかま)

司会:い

全員:いろどる山河(さんが)と 生(い)きいき文化(ぶんか)

司会:こ

全員:こぼれる笑顔(えがお)に 応(こた)える安心(あんしん)

司会:う

全員:うみだす活力(かつりよく) 受(う)けつぐ伝統(でんとう)

司会:か

全員:かがやく未来(みらい)に 鹿深(かふか)の夢(ゆめ)を

平成29年度大原自治振興会 定期総会次第

日 時:平成29年 5月20日(土) 午後8:00～
場 所:甲賀大原地域市民センター 2階会議室

1. 開 会

2. 市民憲章の唱和

3. あいさつ

4. 来賓祝辞

5. 資格審査報告

6. 議長の選出

7. 書記、議事録署名人の指名

8. 議 事

議案 第1号 平成28年度大原自治振興会事業報告

議案 第2号 平成28年度大原自治振興会収支決算報告
平成28年度会計及び事業の監査報告

議案 第3号 平成29年度大原自治振興会事業計画(案)について

議案 第4号 平成29年度大原自治振興会収支予算(案)について

議案 第5号 「大原自治振興会の旅費に関する規程」の改定について

9. 閉 会



大原自治振興会規約

(名称)

第1条 この会の名称は、大原自治振興会（以下「本会」という。）という。

(事務所)

第2条 本会の事務所は、甲賀市甲賀大原地域市民センターに置く。

(目的)

第3条 本会は、大原学区（以下「学区」という。）の住民みずからが学区の将来像を考え、その実現に向けて行動することによって住みよいまちづくりと住人自治の振興に寄与することを目的とする。

(事業)

() 第4条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 学区の未来づくりのための計画策定及び見直しに関すること。
- (2) 人権の尊重、福祉の推進及び健康増進事業に関すること。
- (3) 青少年の健全育成に関すること。
- (4) 安全安心の住みよいまちづくりに関すること。
- (5) 環境の保全に関すること。
- (6) 学区基本方針の具現化に関すること。
- (7) 広報に関すること。
- (8) その他、目的を達成するために必要なこと。

(組織)

第5条 本会の会員は、学区住民及び本会の目的に賛同する各種団体とする。

- () 2 本会は、年齢、性別や社会的地位等の差別を排除し、会員誰もが平等に参加できるものとする。
- 3 本会は、会員に参加を促し、合議制による民主的な組織運営を行うものとする。
- 4 会員は、本会の実施する事業に積極的に参加するものとする。

(役員)

第6条 本会に次の役員をおく。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 2名
- (3) 区長 10名
- (4) 専門部会長 4名
- (5) プロジェクトリーダー
- (6) 監事 2名

- (7) 会計責任者 1名
- (8) 事務局長 1名
- (9) 相談役 1名

(役員を選出)

第7条 役員を選出は、それぞれ次のとおりとする。

- (1) 区長は、当該年度の学区内自治区区長をもって充てる。
- (2) 専門部会長は、専門部会から選出された者をもって充てる。
- (3) 会長、副会長及び監事は、区長、専門部会長及びプロジェクトリーダーが会員の中から選出し、総会で承認を受ける。
- (4) 会計責任者、事務局長は、会長が会員の中から委嘱し、総会で報告する。
- (5) 相談役は、前会長をもって充てる。

(役員の仕事)

第8条 役員の仕事は、次のとおりとする。

- (1) 会長は、本会を代表し会務を統括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。
- (3) 区長、専門部会長及びプロジェクトリーダーは、本会、専門部会及びプロジェクトの事業を統括する。また、まちづくり計画の精査及び課題の検討、素案の作成を行う。
- (4) 監事は、会計、資産の状況及び事業の執行状況を監査し、総会に報告する。
- (5) 会計責任者は、本会の会計の事務処理にあたる。
- (6) 事務局長は、本会の事務運営及び事務処理にあたる。
- (7) 相談役は、必要に応じ助言を行う。

(役員の仕事)

第9条 役員の仕事は、区長を除き2年とし、再任は妨げない。

- 2 役員の中で欠員が生じたときは、補欠役員を補充を行うことができる。ただし、任期は、前任者の残任期間とする。

(選出代議員制)

第10条 各自治区に代議員を置く。代議員は、各自治区において自治区会員より選出された者をもって構成する。

- 2 代議員の数は、人口が、300人未満は3名、300人以上500人未満は4名、500人以上は5名とする。
- 3 役員は、代議員になることができない。
- 4 代議員の仕事は、2年とし、再任は妨げない。

(会議)

第11条 本会の会議は、総会、役員会、専門部会、プロジェクト会議及び広報委員会とする。

(総会)

第12条 総会は、選出代議員制をもって構成する最高の議決機関であつて、この規約に定める事項のほか、この会の目的を達成するための必要な重要事項を決議する。

2 定期総会は、会長の招集により毎年1回以上開催する。

3 臨時総会は、会長が必要と認めたとき、又は代議員の2分の1以上の要求があつたときは、会長の招集により開催する。

4 総会は、代議員の2分の1以上の出席により成立し、その議事は出席者の過半数で決議する。賛否同数の場合は、議長がこれを決する。

5 総会には次の役員をおく。

(1) 議長 1名

(2) 書記 1名

(3) 議事録署名人 2名

6 議長は、出席代議員の中から会長が指名し、出席代議員の承認により選出する。書記及び議事録署名人は、議長が出席代議員の中から指名する。

7 議長は、総会の議事進行を行う。

8 書記は、総会の議事について、会議の運営状況、発言内容、議事の進行等を記載した議事録を作成し、議長及び議事録署名人2名の署名押印を得なければならない。なお、議事録は事務局が保管管理する。

9 総会は、次の事項を審議する。

(1) まちづくり計画の策定(案)や見直し(案)の承認

(2) 事業計画及び予算案の承認

(3) 事業報告及び決算に承認

(4) 規約の改正

(5) 総会で提案された事項

(役員会)

第13条 役員会は、会長、副会長、区長、専門部会長、プロジェクトリーダー、会計責任者及び事務局長をもって構成し、会長が招集し、次の事項を審議し、各専門部会及び各プロジェクトと共に事業を実行する。また、監事及び相談役は必要に応じ役員会に出席して意見を述べることができる。

(1) 本会運営の基本事項

(2) まちづくり計画の策定及び見直し

(3) 総会に付議する事項

(4) 緊急を要する重要事項

(5) 予算の軽微な変更

(6) その他の必要な事項

2 役員会の議長は、会長が行い、その議事録の作成は事務局長が行う。なお、議事録は、議長及び作成者が署名押印し、事務局が保管管理する。

(専門部会)

第14条 専門部会は、学区内の自治区及び各種団体から選出された委員をもって構成し、部会員の互選により部会長1名と副部会長1名を選出する。

2 専門部会は、部会長が招集し、事業の企画、調整、運営及び事業の執行を行う。

3 専門部会は、次のとおりとする。

(1) 健康福祉部会

(2) 地域振興部会

(3) 生活環境部会

(4) 教育文化部会

4 専門部会員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(プロジェクトチーム)

第15条 まちづくり等に関する諸案件に即応するプロジェクトチームを必要に応じて設置することができる。

2 チームメンバーは会員より公募し、会長が任命する。

3 チームには、リーダー1名とサブリーダー1名を、メンバーの互選により選出する。

4 チームメンバーの任期は、各プロジェクト終了までとする。

(広報委員会)

第16条 広報委員は、会長が会員の中から4名を委嘱し、委員の互選により、委員長1名と副委員長1名を選出する。

2 広報委員会は、会員に広く周知するため広報紙等を発行する。

3 広報委員会の任期は2年とし、再任は妨げない。

(会計)

第17条 本会の経費は、交付金、補助金、寄付金及びその他に収入をもってあてる。

(会計年度)

第18条 本会の会計年度は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(情報等の公開広報)

第19条 本会の会議等は、公開を原則とし、事業計画、事業報告及び予算決算等について会員に広く周知するものとする。

(その他)

第20条 この規約に定めるもののほか、必要な事項は会長が総会に諮り別に定める。

付 則

この規約は、平成23年6月25日より施行する。

付 則

この規約は、平成24年12月15日より施行する。

付 則

第1条 自治振興委員及び専門部会員の交互改選を行うため、平成27年度に限り別紙1のとおり、任期を1年とする。

この規約は、平成27年4月1日より施行する。

付 則

この規約は、平成27年6月7日より施行する。

(第15条 プロジェクトチームの追加)

付 則

第1条 大原自治振興会員の旅費に関する規程を別表2のとおり定める。

この規約は、平成28年5月21日より施行する。

付 則

この規約は、平成29年4月1日より施行する。

(自治振興委員の削除、代議員の人数の変更、旅費規程一部改訂)

平成29年度 委員任期

(別表1)

	健康福祉部会	地域振興部会	生活環境部会	教育文化部会
櫛野	1年		1年	
神		1年		1年
大原上田	1年		1年	
大久保		1年		1年
大原中	1年		1年	
拝坂		1年		1年
鳥居野	1年		1年	
相模		1年		1年
大原市場	1年		1年	
高野		1年		1年

(別表2)

○大原自治振興会員の旅費に関する規程

1. この規程は、大原自治振興会員が自治振興会の公務遂行のための会議及び研修会等に出席するための旅費に関し必要な事項を定めるものとする。
2. 町外への会議及び研修会等に出席する場合、自家用自動車を使用するときは、1キロメートルにつき13円として計算する。
3. 公共交通機関等を利用する場合はその実費とする。
4. 尚、上記費用発生する場合は、事前に会長の承認を得るものとする。
5. 役員、部会委員等への費用弁償額は年額とし、下記のとおりとする。
6. この規程に定めるもののほか必要な事項は、会長の承認を得るものとする。

役 職 名	金 額 (年額)
会 長	5, 0 0 0円
副会長	4, 0 0 0円
事務局長	30, 0 0 0円
会計責任者	4, 0 0 0円
部会長	4, 0 0 0円
部会委員	3, 0 0 0円
プロジェクトリーダー	4, 0 0 0円
プロジェクトメンバー	3, 0 0 0円

複数兼務の場合は1委員分のみとする。

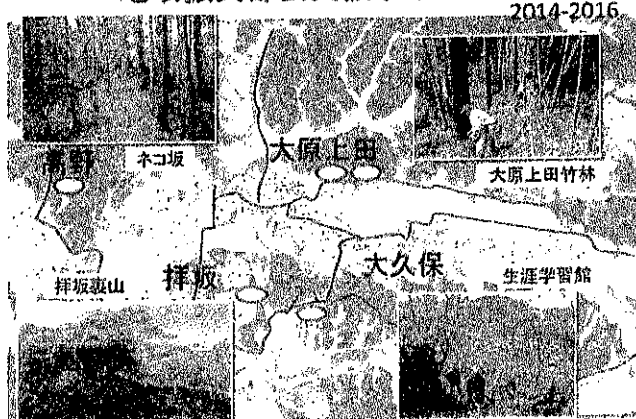
大原自治振興会平成28年度事業報告 概要

専門部会

健康福祉部会のサロンスタッフ交流会、生活環境部の地域の危険箇所点検や防災講演などは、自治区間の交流も深まり、大原学区という広い視野で地域のことを考え、協力し合える体制づくりにつながる。

地域振興部会の「歴史探訪ウォーキング」は唐戸川集落を歩いたが、他地区も知り、自分たちの地域の歴史や恵まれた自然に誇りを持つ機会となった。教育文化部の「こども忍者体験学習」も少子化の今、自治区単位より、広域で取り組んだ方がよいと考える。

地域振興部会支援事業の里山



継続事業名	H23	H24	H25	H26	H27	H28	計
歴史文化看板数		5	2	2	2	2	13
LED 交換設置数	68	53	43	18	18	18	218
認知症(サポーター)受講数		30	***	22	110	78	240
100万歩ウォーク達成者数				39	52	67	158
里山整備				高野	大野 大久保	上田 高野	4区

まちづくりプロジェクト

地域の空き家調査と区長・行政立ち合いのもと現地視察をおこない、廃屋が解体されるなど一定の成果があった。当振興会方針見直しの時期となり、新規事業として、甲賀市と協働で大原学区内の15歳以上の1500名の方から無作為に「大原地域のまちづくりに関する調査」をおこなった。この結果をまちづくりの基礎資料とし、次年度に具体的な対策を講じる。

見守りプロジェクト

生活様式の変化でお隣と顔を会わす機会が減り、高齢者世帯の増加、災害の増加・巨大化等を考えると、地域の「みまもり」体制を再構築しなければならない時期に来ている。学区全域に一斉に展開せず、自治区にあったやり方で、2自治区でモデル区として区民のみなさんにアンケートを取り進めている。できるだけ既存の仕組み(組織)を利用して推進した方がよいことも学んだ。次年度には一定の形が見えると思う。

若者プロジェクト

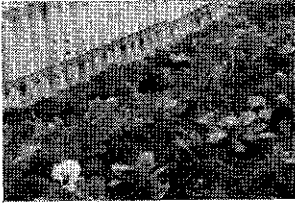
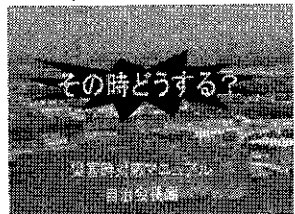



若者が減少する中で、昔の青年団の復活とははならなくても、次世代を担う若者の視点も入れたまちづくりが必要となり、交流と婚活の2つの柱で平成27年度から活動している。いくつかの討議や交流イベントの後、平成28年度は、マイスター館、甲賀駅南口ホールの利用もしながら、駅北口広場で若者が集える場所作りとして、駅前マルシェを9月より開催した。後に、甲賀駅を育てる会に協力していただくこととなった。甲賀駅は甲賀市への玄関口の1つで、観光甲賀(大原)のまちづくりの発展にマルシェも一翼を担うものであり、甲賀駅を育てる会を含めたより大きな組織で取り組む必要があると考える。一方、婚活は情報収集に留まった。

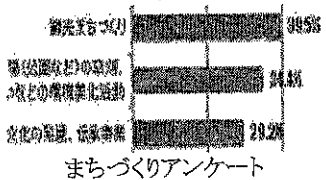

防災プロジェクト


目的は地域防災活動の推進である。平成27年に防災プロジェクトを立ちあげて以来、新たに大原学区で11名の防災士が誕生した。翌年年6月には、防災フェスタ実行委員会を立ち上げ、10月30日には防災フェスタを開催した。大原小学校、消防、社協、自治区、日赤、民生委員児童委員、企業等諸団体合わせて600人以上の参加があり、とりわけ、小学校との共催は、子どもと共に自治区に入っていない方々の参加があったことで、他地域から高い評価を得、災害時の対応の教訓となった。

平成 28 年度大原自治振興会事業報告

部会	事業名	事業概要
健康福祉部会	<p>高齢者等の支援事業</p>  <p>サロンスタッフ交流会</p>  <p>認知症セミナー</p> <p>健康づくり事業</p> <p>共催事業</p>	<p>① ふれあいいいききサロンスタッフ交流研修会 ・各字サロンの「催し物」の情報交換・PR ・サロン運営の問題点討議 ・振興会保有のサロン用備品の展示・PR <u>実施日:11月19日(土) 参加者:35名</u></p> <p>② サロン用備品の充足と利用 PR</p> <p>③ 認知症の講演会 講師：甲南町 グループホーム「そまがわ」 林 繁久さん 『認知症の方と接するには』 <u>実施日:2月19日(日) 参加者:78名</u> アンケート結果:学んだことを生かして認知症の方に接しようと思う。孤立させない地域づくりの大切さ。他に協力をもとめることを学んだ。継続的に開催願います。お年寄りの居場所が必要。地域での支え合いを考える機会となった。認知症の家族を見ておられた方の話を聞きたい。</p> <p>④健康講座 「ウォーキングの正しい方法について」 ・甲賀市スポーツ指導員による講義と簡単な体力測定 <u>7月2日(土)午後8時～10時 参加者:47名</u> 開催場所:甲賀中学校グラウンド</p> <p>⑤ 「100万歩運動」 ・期間 10月から1月末迄の4ヶ月間 <u>申込 94名 100万歩達成者 67名 続けたい希望者多い。</u></p> <p>⑥ 「大原の歴史探訪ウォーキング」(他2部会と共催)</p>
	地域振興部会	 <p>唐戸川集落への旧道</p>  <p>遊歩道整備(高野)</p>  <p>上下流連携交流</p>

部会	事業名	事業概要
生活環境部会	 <p>花いっぱい運動</p>  <p>防災講演</p>	<p>① 花いっぱい運動 7月マリーゴールド 甲賀駅北ロータリー 11月各区 葉牡丹 2月甲賀駅ロータリー パンジー</p> <p>② 防犯灯 LED 交換 防犯灯のLED への交換 各区2基ずつ</p> <p>③ 生活安全道路点検 生活道路の安全点検 市へ要望書提出 通学路はPTA でのしている。区長との情報共有の確認</p> <p>④ 防災事業 10月15日 講師:今井陸之助氏(能登川まちづくり協議会) 10月30日 防災フェスタ協力 地域防災体制を推進するために企画、地域の長の義務を力説された。実働できる防災体制が早期必要である。</p>
	教育文化部会	<p>自然環境学習</p> 
<p>人権の学び</p> 		<p>② シイタケ植菌+木工 椎茸植菌体験 4年生37人 大原小 大原貯水池土地改良区指導による植菌体験後、卒業記念工作として、甲賀ヒノキ材で多目的事務用ツールを塗装仕上げした。</p> <p>③ 「子育てを通じての人権学習」について講演 6/10 14:25- 大原小学校 甲賀市知的障がい者相談員 松山正和氏</p> <p>④ 「ネット社会の歩き方 —情報社会の理解と情報モラルの指導」講演 10/20 13:10- 甲賀中学校人権研修会 岐阜聖徳学院大学教育学部 石原一彦 教授</p>
<p>歴史探訪</p>  <p>忍者体験ツアー</p>		<p>⑤ 忍者体験ツアー ・かふか生涯学習館、くすり学習館、忍術村 10/22 9:00- 参加者・・・小学生35人 保護者18人、スタッフ14人</p> <p>⑥ 第5回歴史再発見ウォーク 11/3 (共催事業)</p>

PJ	事業名	事業概要
まちづくりプロジェクト	空き家対策 	①学区内空き家対策・・・現状把握(学区全体) ②岐阜県恵那市の奥矢作で取り組まれている空き家対策(リフォーム)視察に(県の事業)本部役員4名が参加 11月29日。 ③まちづくりアンケートの実施 ・甲賀市との協働事業 アンケートの作成 回収率 593/1500人 集計した結果を地域に配布予定
見守りプロジェクト	地域見守りの仕組みづくり  学習会	①見守りネット構築・モデル地区公募 ・拝坂区、大原中区でアンケート実施 見守り活動の必要性あり。取り組みやすい仕組みづくり、区外の人との取り組み(大原中)が課題 ②2月16日「地域活動とするための学習会」 参加者:見守りPJメンバー、大原中、拝坂、相模、大久保区、地域包括職員、社協職員34名 助言者:滋賀県立大学 秦 憲志 先生
若者プロジェクト	若者交流  かふか夢の森お花見 甲賀駅前マルシェ	①若者交流 「かふか夢の森お花見」4月9日 忍者鍋とおにぎり ②「ベトナム料理交流」5月12日 マイスター館利用促進(有志) ③甲賀駅前フリーマーケットの開催 ・振興会のJR草津線10周年記念事業で参加者1000人の実績もあり、甲賀駅舎や周辺施設を利用した若者が集える場所作り案が出た。JR利用促進、出店者・地域の人との交流、地産地消の機会もあり、草津線同盟会、甲賀市公共交通推進課の協力で開催、後に、甲賀駅を育てる会との共催。 ・9月より毎月第2日曜10時から15時まで 地域内外約20店舗 ミニイベント、ワークショップ(9月、10月、11月、12月、3月開催) 来場者は多い時は400人 ④婚活は、情報収集に留まった。
防災プロジェクト	広域避難所での実施  防災プロジェクト会議	①研修推進 ・防災士(8名)、災害ボランティアコーディネーター(2名)受講 ②防災フェスタ企画・準備 H26年度よりプロジェクトで企画立案準備をし、H27年度5月以降は、実行委員会を立上げ、自治振興会全体の事業とする。 ・自治区、小学校、PTA、日赤、消防署、消防団、民生児童委員、社協、企業等各種団体との連携、小学校との共催(小学生、自治区未加入者の参加で参加者範囲大)、ウォークラリーによる防災体験学習全般などを企画した。
広報委員会	「おおはら」 	①広報紙「おおはら」発行 第19号 28年6月発行 第20号 28年9月発行 第21号 29年2月発行 第22号 29年4月発行 ②「ちょこっとおおはら」 第1号 28年7月発行 第2号 29年1月発行 定期広報紙の合間に、お知らせ版や広報紙に記載しきれない記事を載せた。

	事業名	事業概要
事務局	<p>防災フェスタ事業</p> 	<p>①防災フェスタを、10月30日 大原小学校にて開催 ・参加人数 600人以上 甲賀市危機管理センターや他自治振興会から、地域ぐるみでの取り組み、小学校との共催で好評を得た。甲賀市防災士会で当取り組み発表の機会を得た。会場で広報 No.2「防災プロジェクトの参加者の感想」配布。</p> <p>② 甲賀駅周辺活性化推進会議(商工会、地元商店街、甲賀駅を育てる会、自治振興会、地元区など)が発足し2回の会議に参加した。</p>
	<p>会 議</p> <p>役員会</p>	<p>講演 「地域防災のあり方」について 田代靖明 氏 議題 1)旅費規程の制定について 2)平成27年度事業報告について 3)平成27年度決算について 4)平成28年度事業計画について 5)平成28年度予算について 開催日 : 平成28年5月15日(日) 場 所 : かふか生涯学習館 2階研修室</p>
	<p>定期総会</p>	<p>議案 1)旅費に関する規定の制定について 2)平成27年度事業報告について 3)平成27年度収支決算報告、会計及び事業の監査報告 4)平成28年度事業計画(案)について 5)平成28年度収支予算(案)について 開催日 : 平成28年5月21日(土) 場 所 : かふか生涯学習館 2階研修室</p>
	<p>臨時役員会</p>	<p>議題 1)平成28年度補正予算(案)について 2)区選出委員について 3)規約の改正について 4)新年度役員選任について 開催日 : 平成29年3月1日(水) 場 所 : 甲賀中央公園集会所</p>
	<p>臨時総会</p>	<p>議題 1)平成28年度補正予算(案)について 2)会長、副会長、監事の承認について 3)規約の改正について 開催日 : 平成29年3月12日(日) 場 所 : かふか生涯学習館 2階研修室</p>
	<p>監査会</p>	<p>平成28年度の事業執行状況や会計について監査 開催日 : 平成29年4月14日(木)AM10:00~ 場 所 : 自治振興会事務室</p>

平成28年度 大原自治振興会決算(案)

収入の部

単位 円

款	項	目	節	当初予算額	補正額	計	決算額	比較	説明
市交付金				8,167,000	0	8,167,000	8,167,000	0	
	基礎交付金	基礎交付金	基礎交付金	1,600,000	0	1,600,000	1,600,000	0	
	区活動交付金	区活動交付金	区活動交付金	2,504,000	0	2,504,000	2,504,000	0	
	事務加算金	事務加算金	事務加算金	956,000	0	956,000	956,000	0	
	事業加算金	事業加算金	事業加算金	3,107,000	0	3,107,000	3,107,000	0	
繰入金				1,130,000	0	1,130,000	1,130,000	0	平成27年度積立金
繰越金	前年度繰越金	前年度繰越金	前年度繰越金	74,000	0	74,000	74,271	271	
諸収入				2,000	462,000	464,000	506,753	42,753	
	預金利子	預金利子	預金利子	1,000	0	1,000	33	△ 967	
	雑入	雑入	雑入	1,000	164,000	165,000	208,620	43,620	諸行事参加料 ふるさと冊子売上
	助成金等	助成金等	助成金等	0	298,000	298,000	298,100	100	甲賀駅を育てる会 民児協寄付他
収入合計				9,373,000	462,000	9,835,000	9,878,024	43,024	

支出の部

款	項	目	節	当初予算額	補正額	計	決算額	比較	説明
総務費	一般管理費	一般管理費		1,909,000	157,000	2,066,000	1,953,879	112,121	
		賃金		200,000	△ 36,000	164,000	132,934	31,066	事務員賃金
		報償費		20,000	0	20,000	0	20,000	
		旅費		300,000	6,000	306,000	291,000	15,000	本部・部員・PJメンバー費用弁償
		需用費		150,000	0	150,000	122,103	27,897	消耗品費 会議用お茶
		役務費		150,000	30,000	180,000	164,962	15,038	あいコムこうか 切手 ハガキ
		使用料及び賃借料		50,000	0	50,000	47,040	2,960	コピー機リース料
		備品購入費		430,000	0	430,000	429,840	160	複写機
		積立金		609,000	157,000	766,000	766,000	0	
事業費	一般管理費	一般管理費		3,360,000	305,000	3,665,000	2,804,627	860,373	
		旅費		30,000	0	30,000	27,192	2,808	研修 出張
		需用費		150,000	0	150,000	147,101	2,899	コピー用紙 カラーインク代
		役務費		100,000	0	100,000	51,800	48,200	振込手数料 部会等通知ハガキ
		使用料及び賃借料		0	0	0	0	0	
		備品購入費		50,000	0	50,000	45,800	4,200	パソコン
	広報費	広報費		320,000	5,000	325,000	321,782	3,218	
		需用費		320,000	5,000	325,000	321,782	3,218	広報誌4回 「ちよこつとおおはら」発行
		役務費		0	0	0	0	0	
	部会活動事業費	部会活動事業費		1,630,000	0	1,630,000	1,192,625	437,375	
		健康福祉部会活動費		350,000	0	350,000	169,014	180,986	百万歩 サロン交流会 認知症セミナー
		地域振興部会活動費		400,000	0	400,000	310,934	89,066	ふるさとお宝発見ウォーキング 里山整備
		生活環境部会活動費		520,000	0	520,000	410,425	109,575	LED化 花いっぱい 防災講演会
		教育文化部会活動費		360,000	0	360,000	302,252	57,748	小中人権の学び 忍術体験 小学生自然学習
	プロジェクト事業費	プロジェクト事業費		280,000	300,000	580,000	464,928	115,072	
		見守りプロジェクト		80,000	0	80,000	47,237	32,763	先進地・市内養護施設研修 モデル地区支援
		若者プロジェクト		100,000	300,000	400,000	393,289	6,711	駅前マルシェ
		地域防災プロジェクト		50,000	0	50,000	10,492	39,508	防災ボランティア養成
		まちづくりプロジェクト		50,000	0	50,000	13,910	36,090	アンケート調査
	防災フェスタ事業費	防災フェスタ事業費		600,000	0	600,000	501,434	98,566	
		報償費		100,000	△ 11,000	89,000	29,169	59,831	司会者・看護師・ブース出展者
		需用費		400,000	0	400,000	388,909	11,091	非常食食材 ポスター・資料印刷 消耗品
		役務費		50,000	0	50,000	22,468	27,532	傷害保険 振込手数料 案内ハガキ
		使用料及び賃借料		50,000	11,000	61,000	60,888	112	長机等レンタル
	まちづくり研修	まちづくり研修		200,000	0	200,000	51,965	148,035	
		報償費		30,000	0	30,000	23,830	6,170	学校再編計画講師
		需用費		100,000	0	100,000	25,828	74,172	学校再編計画講演会お茶等雑費
		使用料及び賃借料		70,000	0	70,000	2,307	67,693	恵那市移住お助け隊養成諸経費
興費	区活動振興交付金			1,600,000	0	1,600,000	1,600,000	0	
		敬老会事業交付金	負担金及び交付金	1,170,000	0	1,170,000	1,170,000	0	
		環境整備交付金	負担金及び交付金	430,000	0	430,000	430,000	0	
活動費	区活動事業交付金	区活動事業交付金	負担金及び交付金	2,504,000	0	2,504,000	2,504,000	0	
支出合計				9,373,000	462,000	9,835,000	8,862,506	972,494	

〔入合計 9,878,024-支出合計 8,862,506=差引残高 1,015,518円 市返戻金 3,107,000-2,804,627+98,100=400,473円 翌年度繰越金 615,045円
 〔金残高 1,781,518円 (翌年度繰越金 615,045円+積立金 766,000円+市返戻金 400,473円)

監 査 報 告 書

大原自治振興会歳入歳出決算

歳入合計	9, 878, 024円
歳出合計	8, 862, 506円
差引残高	1, 015, 518円

残高内訳

翌年度繰越金	615, 045円
市返戻金	400, 473円


平成29年4月14日大原自治振興会事務室で、平成28年度の歳入歳出決算及び事業執行状況について、関係諸帳簿と証拠書類とを対照し、詳細に監査した結果、訂正且つ正確に処理されていることを認めました。

平成29年4月14日

監査委員

堀口 弘志 

監査委員

西田 武史 

平成29年度大原自治振興会事業計画

部会	事業名	事業概要	予定日	予算
健康福祉部会	1. 高齢者等の支援事業 サロンスタッフ・研修会・サロン備品のPR	・サロン間の交流や情報交換	6/24	40
	2. 健康づくり講座 ・ポールウォーキング	・簡単な体力測定やお話を聞き、ポールウォーキングで正しい歩き方を学び、その後実際にウォーキングに出かける。	10/中	50
	3. 100万歩運動	・運動期間 9月～12月		100
	4. 大原ふるさと再発見ウォーク	・多部会と共催	11/上	30
	5. 認知症の講演	・出来れば甲賀町3自治会と合同開催を検討中 内容については、部会及び包括支援センターと相談中	1/14	100
				320
地域振興部会	1 大原ふるさと再発見事業	・歴史探訪だけでなく、文化・産業・観光などのスポットを訪ね歩き、ふるさとの宝を再発見する。	11/上	80
	2 文化財整備事業	・史跡等の案内看板設置 (1か所)	～2月	60
	3 里山・地域景観整備事業 ① 里山整備	・地域の公共性のある里山の整備 実施主体(区、ボランティア)		60
	② 地域景観整備	・重要な観光スポット等の環境美化による景観整備 櫛野ダム周辺他		80
	③ 上下流交流事業 (愛林クラブと共催)	・森づくり体験、上下流の住民(水源流域と琵琶湖下流域)の交流により森林環境への理解と関心を高め、広める。	7/30	40
4 ホテル観察と調査事業	・ホテル出没エリアの調査とマップの更新		0	
5 観光推進事業(新規)	・観光スポット・ルート案内パンフレット調査検討(モデル版) -大原ふるさと再発見の資料に加え、忍者、特産物(農産物・加工品、里山、歴史文化遺産などのデータ収集 -外来者にわかりやすい案内マップ(日本語、英語)検討 -案内標識の設置検討 -甲賀駅からの観光コースマップの検討	6/上 ～2月	80	
				400
生活環境部会	1. 防犯灯整備事業	防犯灯のLEDへの交換 各区2基ずつ (10区x2基=20基設置を予定)		280
	2. 花いっぱい運動	・21世紀の会への手配(甲南高校へ) 7月 甲賀駅北ロータリー マリーゴールド 11月 各区 葉牡丹 紅白 2月 甲賀駅ロータリー パンジー	7月 11月 2月	180
	3. 生活道路の安全事業	・通学路はPTA担当委員会に任せて生活道路を点検する。 点検項目:白線・段差・縁石・横断歩道など		10
	4. 飛び出し忍者設置	・飛び出し忍者の設置 大原小学校PTAに数量など確認 6,000円/枚 2枚/区		60
	5. 防災倉庫の調査	防災倉庫の調査・備品の支給 各区調査により 10,000円×10区		100
				630
教育文化部会	1. 大原小学校自然体験事業	・植樹と自然体験・・・6年 *森林のはたらきと、ダムのはたらきについて学習 ・シイタケ植菌・・・4年 *天原財産区、森林組合、大原貯水池土地改良区	3/上 3/上	85 30
	2. 人権研修事業	・大原小学校PTA他関係者対象講演 ・甲賀中学校生徒他関係者対象講演 *PTA協賛	6月	35 50
	3. 忍者体験学習	・小学生を対象に忍者について忍者村訪問など体験的学習をす		150
	4. 大原ふるさと再発見事業	・大原ふるさと再発見冊子の利用促進	11/上	10
				360

	事業名	事業概要	予定日	予算
まちづくりプロジェクト	1. 自治振興会活動報告交流会	・自治振興会、部会、PJの成果発表会及び交流会	5/27	10
	2. 空き家対策	・危険空き家の位置・状況把握、周辺住民の意向などを把握 廃		40
	3. 学習会	・まちづくりに関する地域情報や先進地情報の収集、発信、学習		50
見守りプロジェクト	1. 地域見守りの仕組みづくり	・自治区での見守り体制づくりの支援 拜坂、大原中継続。他地区にも公募し展開する 推進ボランティアの掘り起こし。区内の既存組織との関連。 指導者、専門機関をモデル地域へ派遣、地域包括、社協、区内の		100
	2. 研修	・先進地の取組みの研修等 金勝方面	6/中	10
	3. 命のバトン配布	・現65歳独居者の枠を、弱者への配慮で広げる。	6月	50
若者プロジェクト	1. 若者の視点でのまちづくり	・甲賀駅前マルシェ(フリーマーケット) 地元特産品開発PRの場、市民活動発表の場、憩いの場 場所:甲賀駅前北口 内容:飲食、雑貨、農産物、農産加工品、手作り品等出店、誰でも参加できるワークショップ、歌・楽器演奏・漫才・紙芝居などのミニイベント、チラシ・ポスター・FB・HP等でPR、地元出店の開拓 ・駅舎、周辺利用促進		200
	2. 婚活	・婚活関係の情報提供、出会いの機会を作る諸活動の検討		50
防災プロジェクト	1. 防災体制の調査	・防災体制構築に向けて、甲賀市の防災調査結果、大原学区まちづくりアンケート結果に加え、学区内の防災備蓄の調査をす		0
	2. 防災体制の構築	・消火栓ボックス用ホース支給:地域防火防災早期強化(事務 ・防災体制について区と懇談し課題をまとめる(前半)。モデル地区で家具転倒防止策など具体的な取り組みを実施し、支援する。(防災士会、コーディネーターなどと連携)		500
	3. 研修	・災害ボランティアの育成(講座受講など)		30
広報委員会	1. 「おおはら」の発行	読者の方に行動していただけるような内容を目指します。 ・広報紙「おおはら」発行 年4回 ・お知らせ版「ちょこっとおおはら」 随時		300
	2. 紙以外のPRの追及	・HPやSNSの有効活用とともに手書き手作りのPR等、いろいろな方法を検討する。		30
事務局	1. 情報の受発信、行政・他団体との折衝・連携、部会・プロの一部事務業務	・まちづくりに関する情報(**講座、**助成、先進地域情報)などを発信 ・部会、プロジェクト活動、地域課題に関する案件についての行政・他団体との交渉、連携、区長会行政要望事項の支援 ・甲賀駅周辺活性化ネットワーク会議(大原自治振興会、大原市場商店街、甲賀駅を育てる会、大原市場区)の参加		350
	2. まちづくり研修	・先進地域への研修	1月	150

平成29年度 大原自治振興会収支予算(案)

収入の部

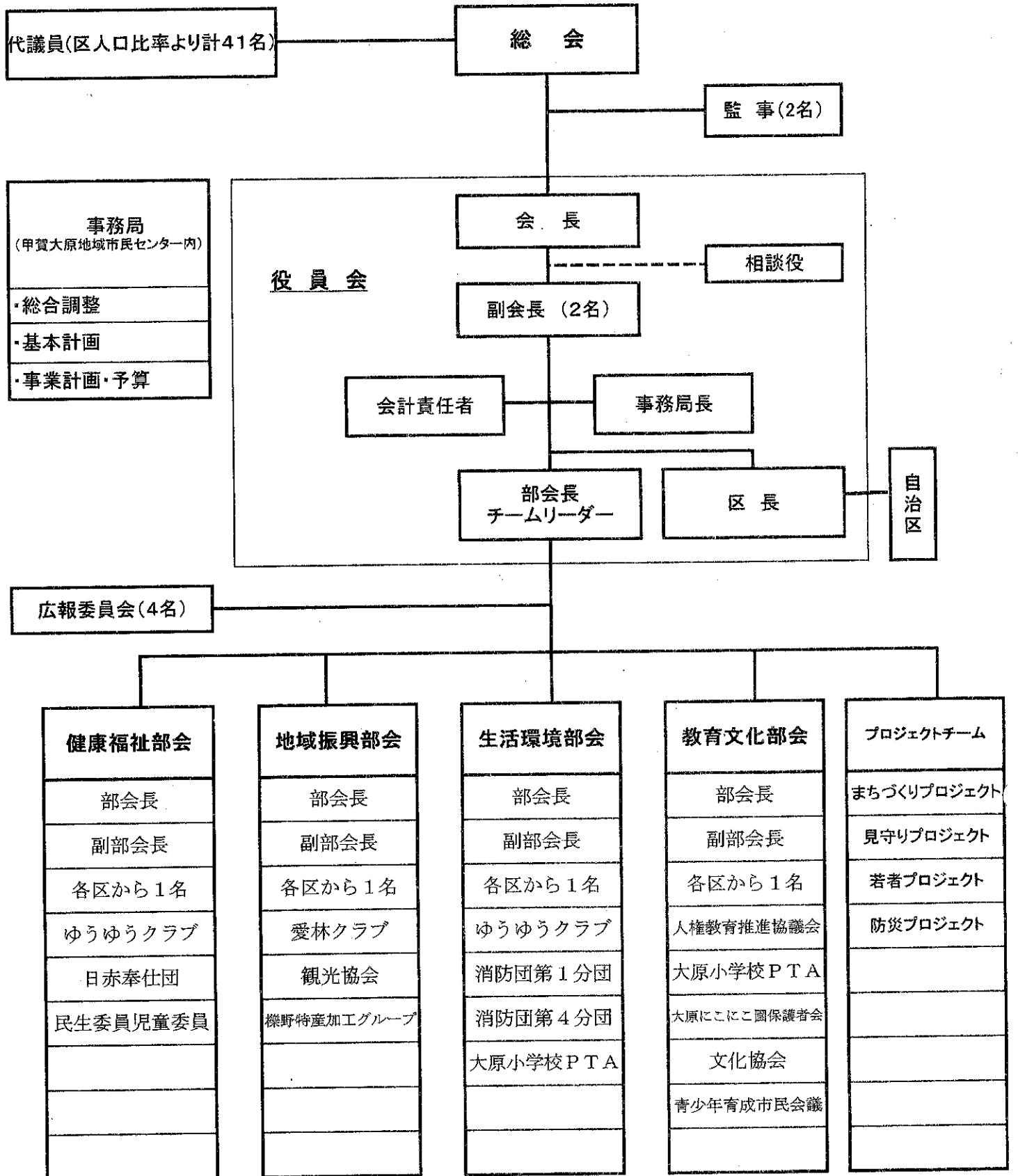
単位:千円

款	項	目	節	本年度予算額	前年度予算額	比較	説明
市交付金				8,129	8,167	△ 38	
	基礎交付金	基礎交付金	基礎交付金	1,605	1,600	5	
	区活動交付金	区活動交付金	区活動交付金	2,496	2,504	△ 8	
	事務加算金	事務加算金	事務加算金	956	956	0	
	事業加算金	事業加算金	事業加算金	3,072	3,107	△ 35	
繰入金				766	1,130	△ 364	平成28年度積立金より
繰越金		前年度繰越金	前年度繰越金	615	74	541	
諸収入				2	2	0	
	預金利子	預金利子	預金利子	1	1	0	
	雑入	雑入	雑入	1	1	0	
収入合計				9,512	9,373	139	

支出の部

款	項	目	節	本年度予算額	前年度予算額	比較	説明
総務費	一般管理費	一般管理費		1,851	1,909	△ 58	
			賃金	750	200	550	事務員給与
			報償費	20	20	0	謝礼
			旅費	350	300	50	委員・役員・PJリーダー費用弁償
			需用費	251	150	101	消耗品、印刷代など
			役務費	180	150	30	あいコムこうか、切手・ハガキ代、各種手数料
			使用料及び賃借料	0	50	△ 50	
			工事費	200	0	200	ブラインド設置、あいコムこうか移転工事
			備品購入費	100	430	△ 330	プリンターなど
			積立金	0	609	△ 609	
				3,560	3,360	200	
事業費	一般管理費	一般管理費		295	330	△ 35	
			旅費	30	30	0	研修 出張
			需用費	150	150	0	消耗品、印刷代など
			役務費	100	100	0	ハガキ代、切手代、振込手数料
			備品購入費	15	50	△ 35	
	広報費	広報費		350	320	30	
			需用費	350	320	30	広報誌4回、「ちょこつとおおほら」発行
	部会活動事業費	部会活動事業費		1,710	1,630	80	
		健康福祉部会活動費		320	350	△ 30	百万歩 認知症講演 サロン交流会
		地域振興部会活動費		400	400	0	ふるさと再発見 史跡案内看板 観光案内
		生活環境部会活動費		630	520	110	LED化 花いっぱい 飛び出し忍者看板
		教育文化部会活動費		360	360	0	大原小自然体験 小・中学人権研修
	プロジェクト事業費	プロジェクト事業費		1,055	280	775	
		まちづくりプロジェクト		50	50	0	部会・PJ交流会 危険空き家
		見守りプロジェクト		160	80	80	見守り体制作り 先進地研修 命のバトン
		若者プロジェクト		300	100	200	駅前マルシェ 駅利用促進 婚活情報提供
		防災プロジェクト		545	50	495	消火栓BOX用ホース支給 災害VL育成
	防災フェスタ事業費	防災フェスタ事業費		0	600	△ 600	
			報償費	0	100	△ 100	
			需用費	0	400	△ 400	
			役務費	0	50	△ 50	
			使用料及び賃借料	0	50	△ 50	
	まちづくり研修	まちづくり研修		150	200	△ 50	
			報償費	30	30	0	講師謝礼
			需用費	50	100	△ 50	資料作成
			使用料及び賃借料	70	70	0	バス代
振興費	区活動振興交付金			1,605	1,600	5	
		敬老会事業交付金	負担金及び交付金	1,207	1,170	37	
		環境整備交付金	負担金及び交付金	398	430	△ 32	
区活動費	区活動事業交付金	区活動事業交付金	負担金及び交付金	2,496	2,504	△ 8	
支出合計				9,512	9,373	139	

大原自治振興会組織図



《 平成29年度大原自治振興会委員名簿 》

【 事務局 】

会 長	中島 教芳				相 談 役 田中 勇
副会長	廣岡 道生	大原 久和			
会計責任者	宮林 康自				
監 事	堀口 弘志	西田 武史			
事務局長	松岡 篤史				
事務員	中島 恵美子				
広報委員	松本 勝	林 幸世	福永 光代	竹中島 勝	

【 区長 】

区 名	区 長
	氏 名
櫛 野	山本 佳一郎
神	廣岡 久一
大原上田	堀口 深
大久保	大原 邦明
大原中	西田 道義
拝 坂	森田 幸一
鳥居野	中井 朝男
相 模	中嶋 明雄
大原市場	宮林 康自
高 野	奥山 盛司

【 専門部会委員 】

◎は部会長

○は副部会長

区名等	健康福祉部	地域振興部	生活環境部	教育文化部
	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
櫛 野	◎ 桑田 憲治	○ 山下 真知子	島岡 貞之	桑田 亜希子
神	廣岡 豪樹	中本 茂鋭	◎ 福永 享晴	中島 克弥
大原上田	角川 勝代	福田 重則	○ 木村 由喜男	森田 亨
大久保	大原 幸子	東 克美	重田 宜孝	◎ 中島 芳幸
大原中	堅田 富恵	辻 直也	福井 伸彦	西田 恒夫
拝 坂	瀧 紀子	◎ 田村 衛	梶本 裕之	島岡 啓友
鳥居野	川邊 忠一良	立岡 栄輝	奥村 通裕	藤河 正明
相 模	村木 竹良	木下 太志	中島 裕介	○ 大槻 康範
大原市場	尾川 伸一	守岡 恵子	古川 秀行	増田 治雄
高 野	○ 奥山 清美	大林 瞬也	田畑 忠文	高田 修三
各種団体	(ゆうゆうクラブ連合会)	(愛林クラブ)	(ゆうゆうクラブ連合会)	(人権教育推進協議会)
	鈴木 一司	竹中島 眞博	川村 二郎	井村 龍造
	(民生委員児童委員)	(観光協会)	(消防団第1分団)	(大原小学校PTA)
	難波 健吉	藤岡 茂喜	中井 大	奥村 智
	(日赤奉仕団)	(櫛野特産加工グループ)	(大原小学校PTA)	(大原にこにこ園保護者会)
	大井 保子	山下 真知子	田中 誠之	井原 信介
		(神みそ加工グループ)		(文化協会)
	広岡 慶子		西谷 輝昭	
			(青少年育成市民会議)	
			高田 富夫	

【 プロジェクトメンバー 】

プロジェクト	氏名	プロジェクト	氏名
見守りPJ 担当： 廣岡道生	◎ 雲 哲雄	まちづくりPJ	◎ 大原 久和
	○ 廣岡由起子		○ 西村 俊昭
	奥本 玲子		中島 節子
	井村 龍造		井村 龍造
	中島 節子		松本 勝
	松本 勝		雲 哲雄
	難波 健吉		東 重幸
若者PJ 担当： 松岡篤史	◎ 畑中 一基	担当： 大原久和	奥山 清美
	○ 奥山 清美	防災PJ 担当： 中島教芳	田中 勇
	西村 俊昭		◎ 東 重幸
	雲 哲雄		○ 前川 美一
	中島 節子		大原 平
	林 幸世		福田 仁美
	中井 保隆		雲 哲雄
	中川 淳		中川 直樹
	中村 卓也		中村 政一
	林 幸世		

【 代議員 】

自治会	氏名	自治会	氏名
櫛野	雲 佳信	拝坂	奥本 玲子
	嶋岡 市雄		廣瀬 茂樹
	山下 康雄		田中 光雄
神	竹中島 徳治	鳥居野	吉治 孝和
	福永 佳隆		茂田 裕二
	井用 雅人		坂上 太
	中島 節子		松田 昌美
	廣岡 千里		小川 剛
大原上田	中井 武司	相模	出口 義久
	畑山 智一		松岡 富治
	堀口 真澄		中島 茂
大久保	中島 みゆき	大原市場	玉木 増一
	大原 賢		大北 利文
	西田 一誠		福永 豊
	中島 正和		井元 規夫
大原中	辻 富雄	高野	田中 義一
	西村 朋弥		西澤 嘉人
	井村 修		北相模 登一
	難波 健吉		田畑 義和
	三日月 統治		横井 徳真
		大林 吉次	